

平成27年1月19日

乗務員用乗降ドアが開いている状態で列車が発車した事象について

お客様の安全を最優先に取り組みを進めている中、昨日（1/18）乗務員用乗降ドアが開いたまま列車が発車した事象を発生させました。ご利用のお客様にご心配をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

1. 発生日時 平成27年1月18日（日） 23時06分頃
2. 発生区間 函館線 小樽駅構内
(住所 小樽駅：小樽市稲穂2丁目22番15号)
3. 列車 長万部 19時46分発 札幌行き 普通列車(3両編成)
定員：335名 乗車：約60名

4. 概況

当列車が2両編成で小樽駅に22時56分頃、6分遅れで到着し、後ろに1両併結する作業を行いました。3両編成として23時06分に6分遅れで発車した際、前から2両目後部のホーム側（進行方向左側）の乗務員用乗降ドアが開いているのを、小樽駅まで当列車を乗務をしてきて、小樽駅で交代した運転士が発見し、連絡を受けた車掌がただちに当該ドアを閉めました。

当列車出発時に当該ドア付近にお客様はおらず、全てのお客様が客室内に着席していたことを確認しております。

この事象によりケガをされたお客様はいらっしゃいませんでした。

5. 原因

併結作業の際に、運転士が乗務員用乗降ドアを確実に閉めなかったためと思われますが、詳細については調査中です。

6. 今後の対応

原因を調査の上、対策を検討してまいります。